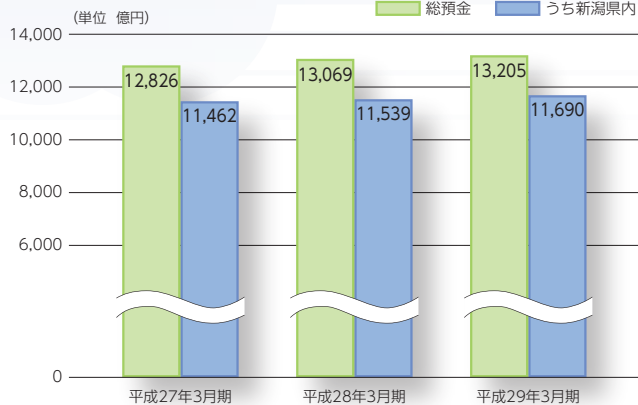


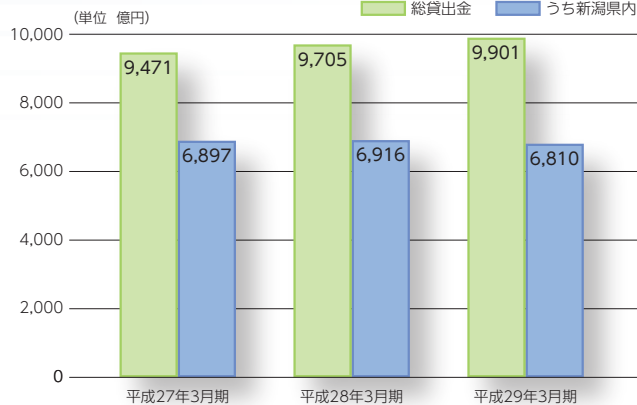
# 平成29年3月期決算の概要

## 預金残高



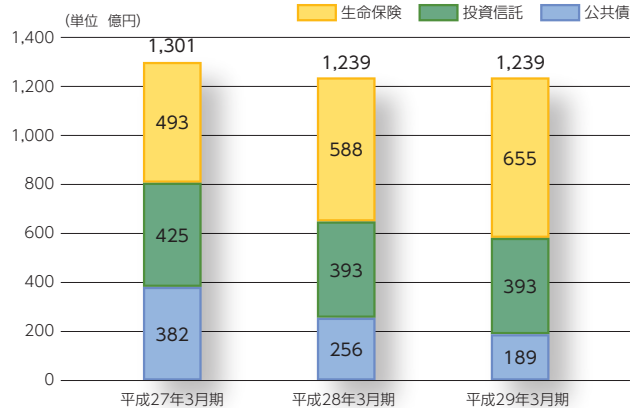
預金等残高（含む譲渡性預金）は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比136億円増加の1兆3,205億円となりました。新潟県内預金等残高は1兆1,690億円、県内預金比率は88%です。

## 貸出金残高



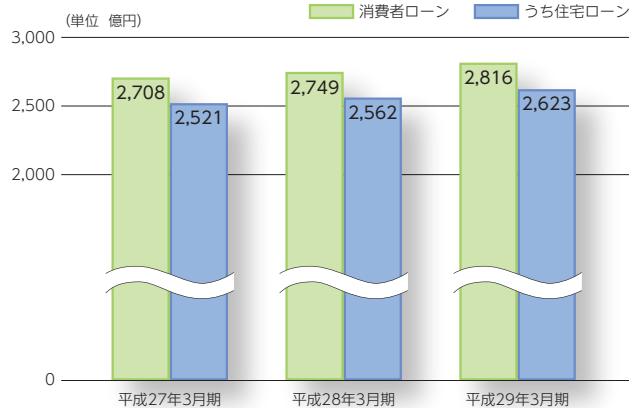
貸出金残高は、中小企業向け貸出を中心に事業者向け貸出が増加したほか、住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加し、前年同期比196億円増加の9,901億円となりました。新潟県内貸出金残高は6,810億円、県内貸出金比率は68%です。

## 預り資産残高



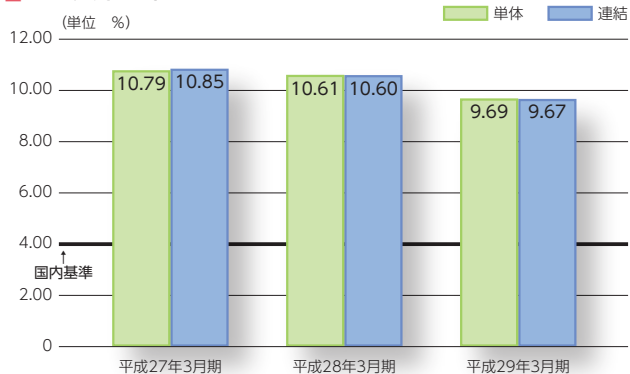
預り資産残高は、生命保険が順調に増加したものの、個人向け国債の償還による公共債の減少により、前年同期比横這いの1,239億円となりました。

## 消費者ローン残高・住宅ローン残高



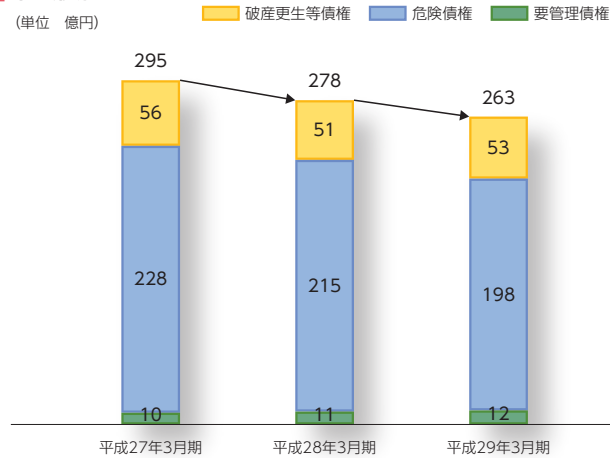
消費者ローン残高は、住宅ローンが増加したことから前年同期比67億円増加し、2,816億円となりました。

## 自己資本比率



自己資本比率は、単体が9.69%、連結が9.67%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。

## 不良債権



不良債権比率 3.10% → 2.84% → 2.65%

金融再生法に基づく開示債権額は、前年同期比15億円減少の263億円で、総与信額に占める割合は2.65%となりました。

### 自己資本比率とは

貸出金や有価証券などの総資産（リスクアセット）に対する自己資本（資本金・内部留保など）の割合を示すもので、高いほど健全といえます。当行のように国内業務のみを営む銀行は4%以上を維持することが義務付けられています。

# 平成29年3月期決算の概要

## ■ 損益

(単位 百万円)

	平成29年3月期	平成28年3月期	増減
業務粗利益	17,045	17,090	▲ 45
(資金利益)	(15,754)	(16,287)	(▲ 533)
(役務取引等利益)	(567)	(455)	(112)
(国債等債券関係損益)	(675)	(757)	(▲ 82)
経費	12,556	12,730	▲ 174
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
業務純益	4,488	4,359	129
(コア業務純益)	(3,813)	(3,602)	(211)
不良債権処理額	483	498	▲ 15
株式等関係損益	142	91	51
経常利益	4,596	4,673	▲ 77
当期純利益	3,142	2,966	176

$$\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費} - \text{一般貸倒引当金繰入額}$$

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券関係損益}$$

### <前年同期との比較>

#### ■コア業務純益

資金利益は減少しましたが、経費の減少や役務取引等利益の増加、金融派生商品損益の改善などにより、2億11百万円の増益となりました。

#### ■経常利益

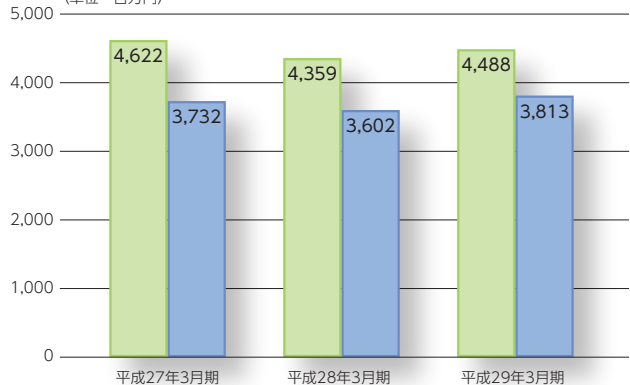
実質与信関係費用の減少などの増益要因はありましたが、退職給付費用(臨時処理分)の増加などにより、その他臨時損益が減少し、77百万円の減益となりました。

#### ■当期純利益

税金費用が減少したことなどにより、1億76百万円の増益となりました。

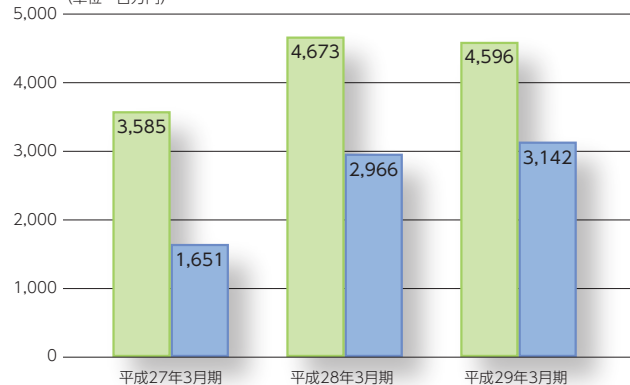
## ■ 業務純益・コア業務純益

(単位 百万円)



## ■ 経常利益・当期純利益

(単位 百万円)



## ■ 有価証券の評価損益

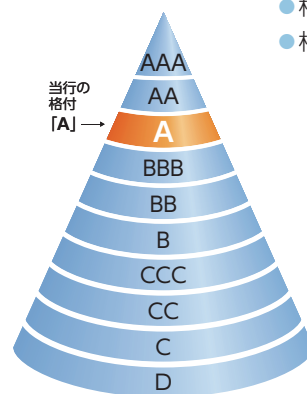
(単位 百万円)

	平成29年3月期	平成28年3月期	増減
満期保有目的	▲ 12	376	▲ 388
その他有価証券	19,761	23,762	▲4,001
株式	6,152	5,288	864
債券	6,569	10,522	▲3,953
その他	7,039	7,951	▲ 912
合計	19,749	24,138	▲4,389

有価証券全体の評価損益は197億49百万円となり、前年同期比43億89百万円減少しました。

## ■ 格付

株式会社日本格付研究所(JCR)より格付を取得しています。



- 格付：「A」(シングルAフラット)
- 格付の種類：長期発行体格付

※長期発行体格付とは、債務者(発行体)の債務全体を捉えて、その債務履行能力を評価したものをいいます。

※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして「+」もしくは「-」の符号による区分があります。

- 安全性が高く評価されております。